

## 要請番号 (JL02423B18)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ラオス	I102 障害児・者支援		個別	交替 2代目	2年	・2024/2・2024/3・ 2025/1

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

## 2) 配属機関名 (日本語)

障害者職業訓練校

## 3) 任地 (首都ビエンチャン) JICA事務所の所在地 (首都ビエンチャン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

ラオスでは数少ない障害者を対象とした職業訓練校として2001年に開校。2年制のIT、ビジネス、電気(主に電気製品の修理)、服飾、木工、自動車整備コースを運営している。生徒数20名、教員数12名。(以前は約100人程度の生徒がいたが、コロナ禍に入学者を制限した。2023年9月の新学期から生徒数を戻す予定、教員数も増える可能性あり)生徒には盲・聾者、重度の知的障害者はおらず、身体障害を持っているが、生活する上で常に介助を必要とする人はいない。18~30代の生徒が、学校の敷地内にある寮で生活しながら技能を学び(2か月のインターンプログラムを含む)、卒業後の就職、社会的自立を目指す。前任の障害児・者支援隊員が2024年3月まで派遣予定。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

配属先となる職業訓練校では、障害者が自立して働けることを目標にコースが設定され、実技中心の授業が行われている。基本的な職業訓練に必要な設備とスポーツが可能な設備が整っている。現在は一時的に英語専門の教師がおらず、校長と隊員が中心となって英語の授業を行っている。(既存の生徒数が少なく、現在は週2日1-2時間の英語3コマを隊員が担当)以前よりコミュニケーションを中心にした授業作りに課題があったことから、生徒のレベルに合わせた初級英語、英会話の授業の質向上を要請に至った。また、生徒数の増加も見込まれ、学校運営・新教員の授業運営補助、生徒との授業外での交流についても期待されている。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の要望に応じ、配属先職員とともに以下の活動を行う。

- 初級の英会話を中心として週2,3日程度(1-2クラス/日。1クラス90分、10-20名を対象)のクラス運営を担当する。
- 生徒のレベルに合わせた英語に親しめるクラス運営、教材開発、イベントを実施する。
- 指導力向上を目的とした同僚教員との意見交換や技術指導を行う。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ホワイトボード、プロジェクター、パソコン(職員室)、プリンター(職員室)

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:校長(50代 男性 教員歴30年以上)

教員11名(男性9割 30-40代 教員歴10年以上)

※CPは赴任時の状況に合わせて決定

活動対象者:IT・ビジネスコースの学生(男性9割 10-30代 身体障害者が主、学校全体で新入生50-70名が2023年9月に入学見込み)

#### 5) 活動使用言語

ラオ語

#### 6) 生活使用言語

ラオ語

#### 7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

### 【資格条件等】

[免許]：(教諭免許(校種・教科不問))

[学歴]：(大卒) 教育学 備考：活動上必要

[性別]：( ) 備考：

[経験]：(指導経験) 2年以上 備考：活動上必要

[参考情報]：

- ・英語を教えた経験があると尚よい

#### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候]：(熱帯モンスーン気候) 気温：(10~40℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

### 【特記事項】

本応募期では同配属先に作業療法士隊員の要請もあげており、一緒に活動する可能性がある。